

Course number		U-LAS25 10001 SO48					
Course title (and course title in English)		イタリア語Ⅰ（文法・会話）I102,I103 Italian I (Grammar, Conversation)		Instructor's name, job title, and department of affiliation		Part-time Lecturer,NENCETTI Marco Part-time Lecturer,KAWAI NARUO	
Group	Languages			Field(Classification)			
Language of instruction	Japanese and Italian			Old group	Group C	Number of credits	8
Number of weekly time blocks	2	Class style	Seminar (Foreign language) (Face-to-face course)		Year/semesters	2024・Year-round	
Days and periods	Fri.3・4/Fri.4・5		Target year	All students	Eligible students	For all majors	
[Overview and purpose of the course]							
この授業は、大きく二つのことを目指しています。一つはイタリア語の初等文法を習得することによって、簡単なイタリア語の理解ができるようになることです。辞書を引きさえすればある程度 of 文章も読めるようになることでもあります。もう一つのことは、会話力を身に着けることです。イタリア語は日本人にとって大変聞き取りやすい言語なので、簡単な文で自己表現をして、旅行程度では会話に困らない力をつけることとも言えるでしょう。							
[Course objectives]							
イタリア語の基礎的な文法知識を習得し、平易な文章ならば辞書を用いて「正確に」読解できるようになる。またイタリアを旅行する際に困らない程度 of コミュニケーション能力を身につける。							
[Course schedule and contents]]							
前期 ごく簡単な文法を学び、会話では挨拶に始まり、ごく簡単なやりとりができるようにします。 以下、文法事項についての目安を書いておきます。							
文字と発音 名詞の性と数 冠詞（不定冠詞、定冠詞） 形容詞の性と数、指示形容詞 動詞 essere (be英) 動詞 avere （have英） 所有形容詞 規則变化動詞(-are, -ere, -ire動詞)の現在形 不規則变化動詞の現在形、補助動詞 疑問詞、前置詞の使い方							
後期 初等文法を学び終え、会話では、日常的な会話で簡単な意思疎通ができるレベルまで練習します。 近過去（助動詞avere/essere, 過去分詞） 比較級（同等、優等、劣等比較）・最上級（相対最上級、絶対最上級） 再帰動詞・代名動詞 補語人称代名詞（直接補語、間接補語） 半過去							
----- Continue to イタリア語Ⅰ（文法・会話）I102,I103(2) ↓↓↓							

イタリア語Ⅰ（文法・会話）I102,I103(2)

命令法

条件法

受動態

ciとneの主な用法

siの用法

最後に、将来の自学自習のため、接続法など少し難しい文法についても手ほどきをします。

[Course requirements]

Refer to "Handbook of Liberal Arts and General Education Courses".

[Evaluation methods and policy]

評価の方法

前期、後期の最後に行う期末試験の成績に平常点評価を加味して評価を行う。

（二人の教員がそれぞれ評価したものをあとで合算する）

評価の割合（評価基準の詳しい割合については授業中に指示する）

筆記試験の成績：後期テストをより重視する

平常点評価：授業中の小テストの成績も平常点に加える

なお、出席状況が著しく悪い者は期末試験を受ける資格を失うものとする。

[Textbooks]

秋山余思他『パッソ・ア・パッソ』（白水社）ISBN:978-4-560-01759-3

上記のテキストは河合の授業時に使用します。それ以外のテキストについては、初回の授業時に説明します。

[References, etc.]

（References, etc.）

Introduced during class

[Study outside of class (preparation and review)]

毎回必ず予習をしてください。

また、動詞の活用などについて小テストも適宜実施します。

長期休暇の間にもイタリア語に少しでも触れるようにしてください。

[Other information (office hours, etc.)]

授業後等に直接質問に来てください。

オフィスアワー実施の有無は、KULASISで確認してください。